

経験の「資産化」と実績の発信

イベントで得られたデータやノウハウ、そして参加者の熱気は、チームにとってかけがえのない財産です。これらをしっかりと形に残し、対外的にアピールすることで、持続可能な運営の鍵となる「次回の開催に向けた強力な推進力」を生み出します。

経験を「資産」に変える報告書作成

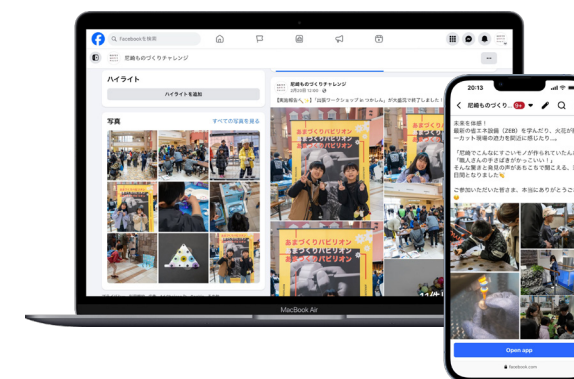
イベントの参加人数や来場者属性、アンケートで得られた満足度、そして振り返り会（KMQT等）で洗い出した課題と改善策を、しっかりと「報告書」にまとめましょう。実行委員会のメンバーや各企業の担当者が数年後に変わった場合でも、これまでの歩みとノウハウが確実に引き継がれ、特定の個人に依存する運営の「属人化」を防ぐことができます。



(参考) あまづくりパビリオン
出張ワークショップ実施内容まとめ

実績発信が「次年度のパスポート」になる

来場者の熱気、アンケートで得られた高い評価、社員の意識変化といった「成果」を、報告書や自社のSNS、メディアを通じて積極的に対外発信しましょう。こうした客観的な実績を可視化して伝えることは、次年度の行政からの支援や、金融機関・地域企業からの協賛金を獲得するための強力な武器になります。



おわりに

本ハンドブックでは、オープンファクトリーの立ち上げから継続に至るまでの具体的なステップや、先行地域のリアルな声をご紹介します。

工場を開くことは、単にものづくりの現場を見せるだけでなく、自社の価値を再定義し、地域社会との信頼関係を築くための強力な経営戦略です。そして、個々の企業が点として実施するのではなく、行政や金融機関、地域住民と面となって取り組むことで、その効果は何倍にも広がります。

このハンドブックを一つの道しるべとして活用しつつ、ぜひ皆様の地域ならではの特色を活かした、独自のオープンファクトリーを作り上げてください。

本冊子が、その挑戦の一助となれば幸いです。

事業名：持続可能な地域一体型オープンファクトリー調査業務

受託事業者：株式会社友安製作所

発行日：令和8年2月27日

発行者：(公財)ひょうご産業活性化センター

このハンドブックは中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して制作したものです

